

熊本市における個別支援の 現状と実態

平成29年6月2日
熊本中央6地域包括支援センター

熊本市における認知症施策

(1) 早期発見の仕組み

- ・かかりつけ医認知症対応力向上研修
- ・高齢者の集う場での気づき
- ・**認知症初期集中支援チームの設置**

(2) 医療体制

- ・認知症疾患医療センター
- ・かかりつけ医認知症対応力向上研修
- ・認知症サポート医養成研修
- ・病院勤務の医療従事者の認知症対応力の向上
- ・**認知症初期集中支援チームの設置**

(3) 人づくり

- ・認知症サポーター養成
- ・介護人材の育成
- ・病院勤務の医療従事者の認知症対応力の向上



熊本市における認知症施策

(4) 医療と介護の連携体制

- ・認知症地域支援推進員の設置

(5) 権利擁護

- ・成年後見制度の利用
- ・認知症徘徊者への対応
- ・高齢者虐待への対応

(6) 家族支援

- ・認知症コールセンター運営
- ・地域での家族のつどい

(7) 若年性認知症支援

- ・認知症コールセンターへ
若年性専門コーディネーターの配置



熊本市の認知症初期集中支援チームの体制

平成27年5月～

認知症初期集中支援チーム

●専門スタッフ

認知症地域支援推進員

(市高齢介護福祉課)

保健師 1名

社会福祉士 1名

(熊本中央6地域包括支援センター)

精神保健福祉士 1名

行政

(市高齢介護福祉課)

バックアップ
関係機関への
周知啓発等

●認知症専門医

市高齢介護福祉課 医療主幹 1名

(精神保健福祉センター 兼務)

バックアップ

チーム員会議への参加

市認知症疾患医療センター

(くまもと青明病院)



初期集中支援チームへの相談までの流れ

相談者(本人・家族、ケアマネなど)

- 認知症の鑑別診断を希望
- 症状が激しく対応困難な方 等

相談

地域包括支援センター

認知症疾患医療センター

チームへの
依頼

- ・本人の状態の確認
- ・包括へ同行訪問の依頼

チームへの
依頼

認知症初期集中支援チーム

市民からの直接の相談ではなく、
チームへ依頼する窓口を限定している。
相談者への関わりでは、必ず包括職員とともにを行う。

面接相談

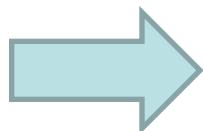
(対象者)

軽度認知障害（MCI）レベルの方

精神科病院への受診に拒否が強い場合の方等

ご家族のみの面接相談の場合もあり

精神保健福祉センター（ウェルパルくまもと3階）の一室
(診療所機能あり)で、市の認知症専門医による面接相談を実施。
認知機能検査や症状の聞き取りを行う。



必要時、医師から専門医療機関を紹介し受診へ。
医師から内服薬の処方ある場合も。

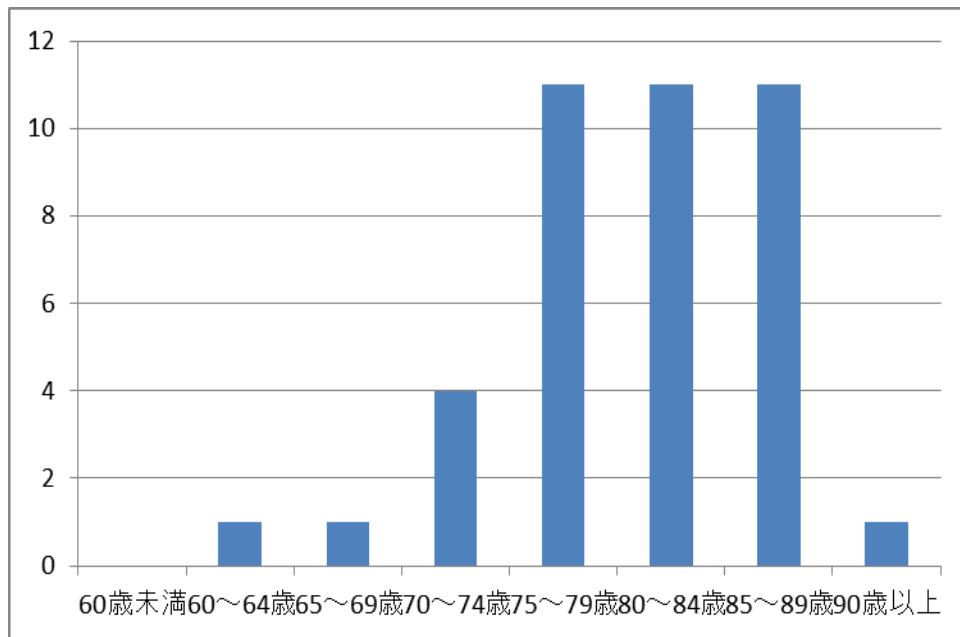
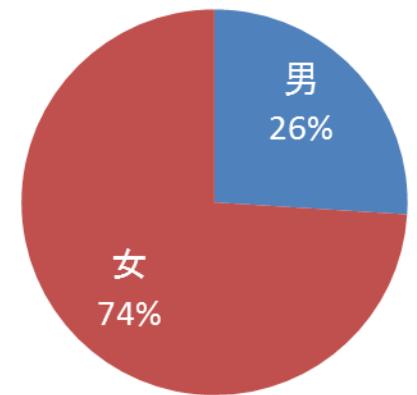
※面接相談の実施前に、通常は訪問を行っている。

対象者の概要①

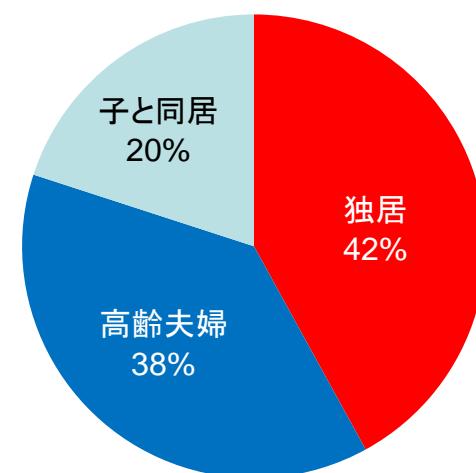
平成27年5月～平成28年3月 対象者50名

	平均値	中央値	標準偏差
年齢(歳)	80.4	82.0	6.47
罹病期間（月）	17.2	12.0	15.3
MMSE	20.8	23.0	7.35
DASC21	35.6	30.0	14.0

男女比

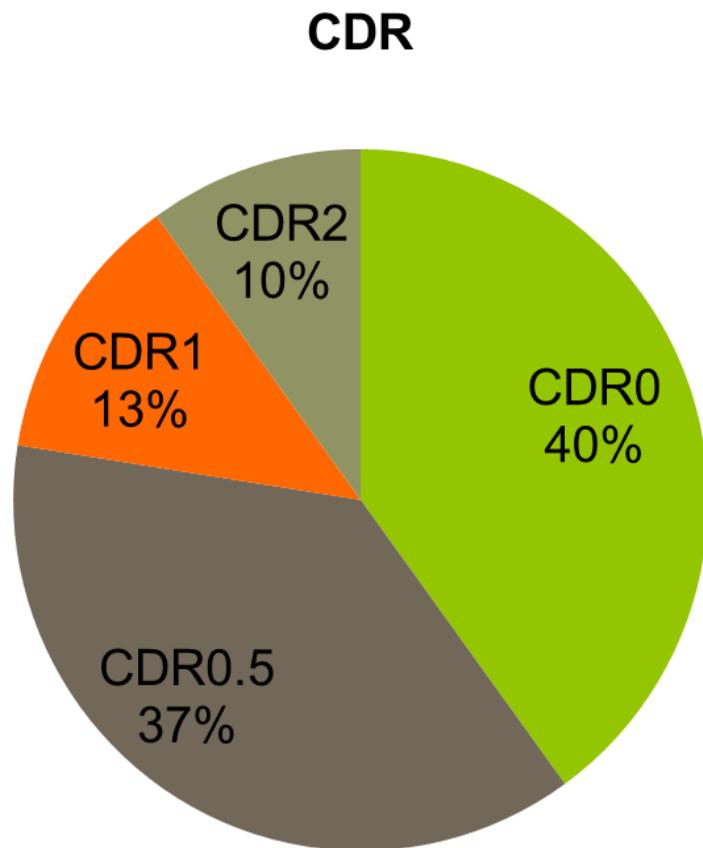


世帯状況



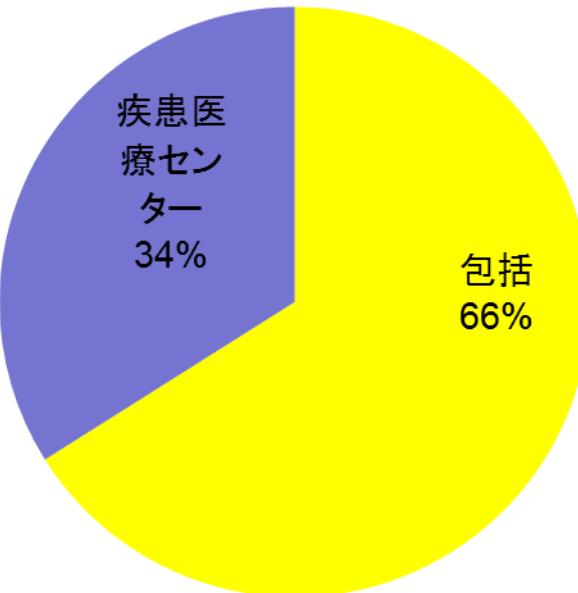
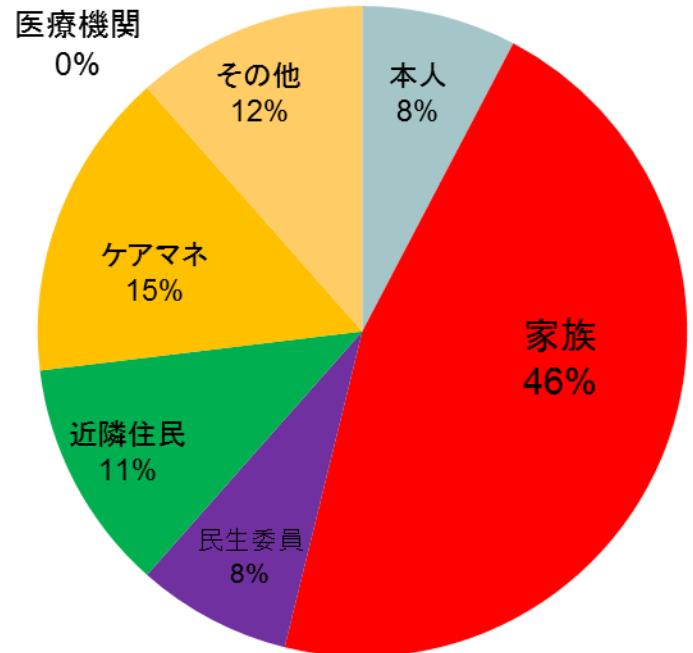
対象者の概要②

平成27年5月～平成28年3月 対象者50名



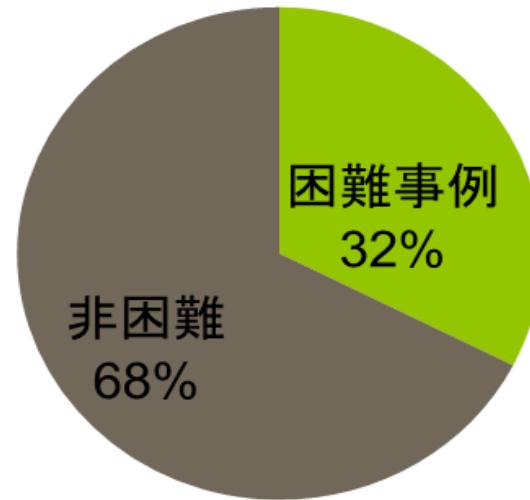
相談ルート

初期症状把握者



介入時の状況①

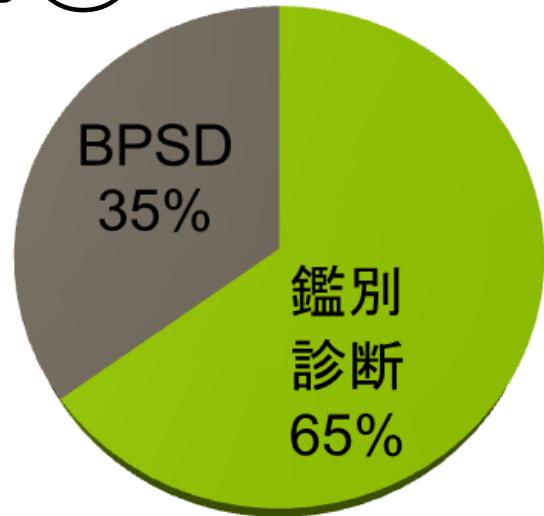
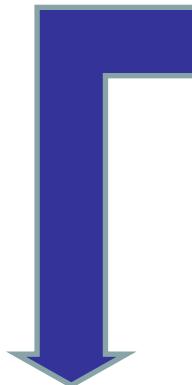
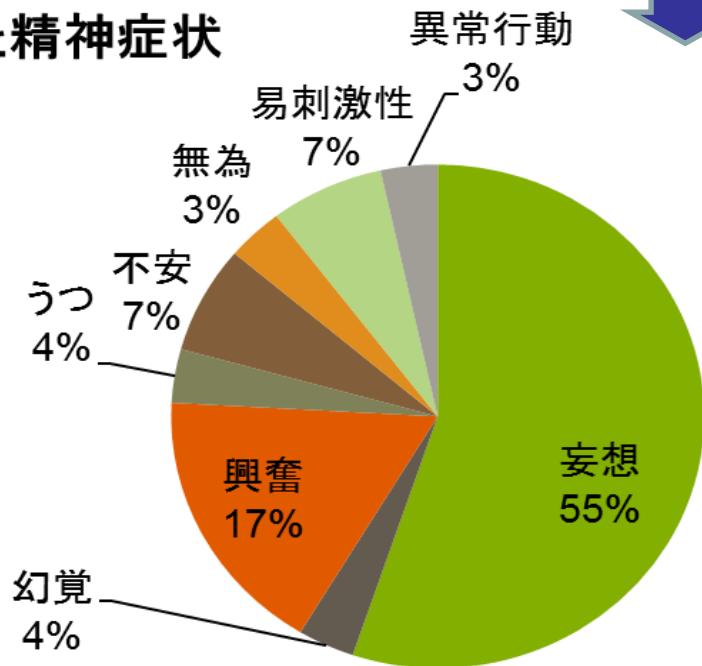
複雑困難事例の割合



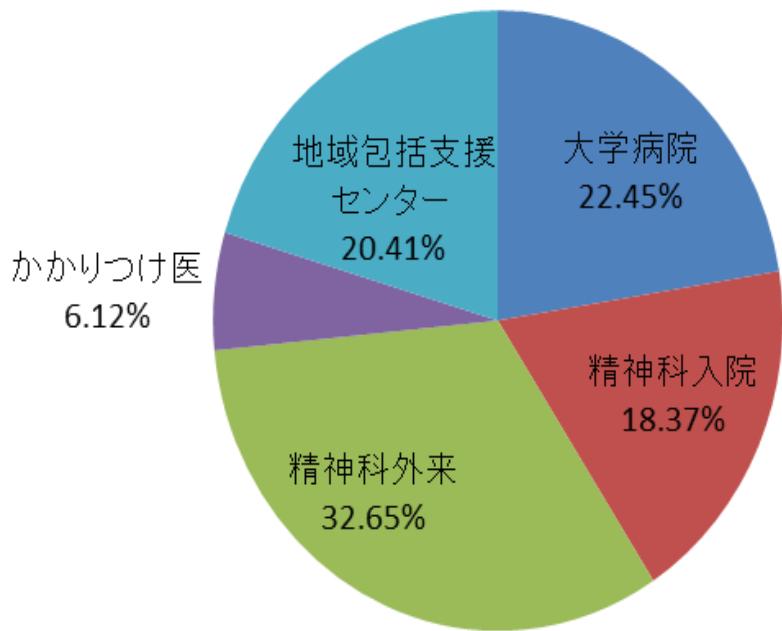
- ・3例しか認知症の診断は受けていなかった
- ・かかりつけ医がない事例が48%であった。
- ・介護保険利用者は32%であった。

介入時の状況②

問題となった精神症状



連携時の状況

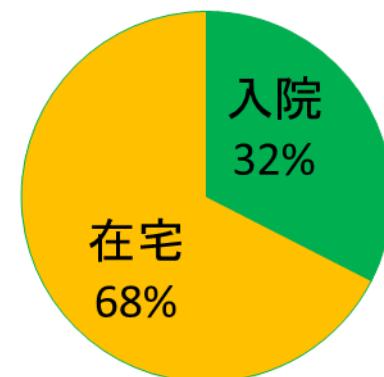


鑑別診断目的

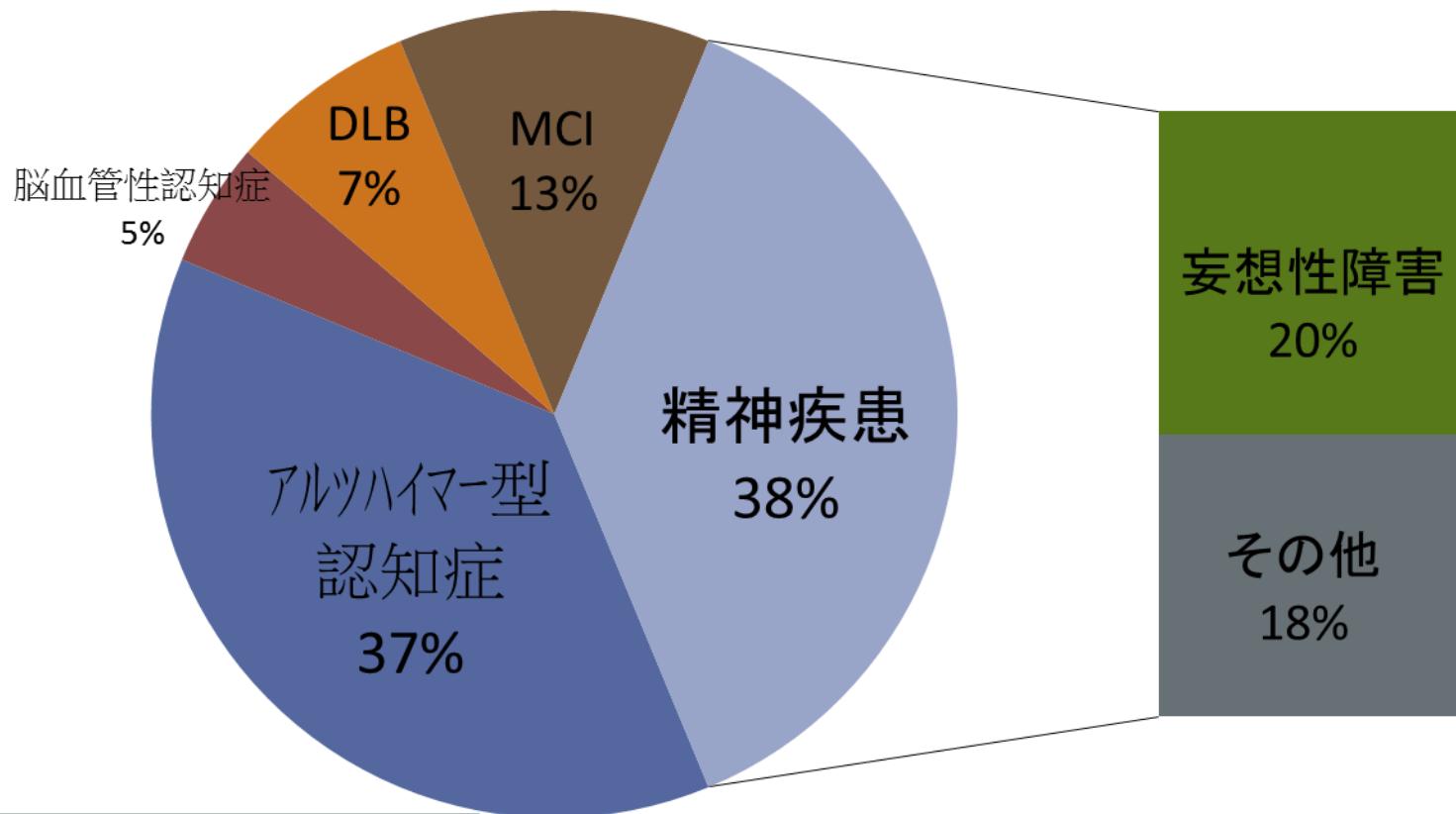
- ・レビー小体型認知症かどうか
- ・精神症状か認知症のBPSDか
- ・MCI due to DLB, due to AD etc.

精神症状が激しい、独居

連携後の処遇



対象者の臨床診断分類



DLB:レビー小体型認知症
MCI:軽度認知機能障害

相談事例 の紹介

まとめ

- ・熊本市では、認知症地域支援推進員のネットワークを活用して、市内の専門医療機関だけでなく市外の専門医療機関とも連携して、速やかに受診できる体制を整えている。
- ・相談から終結まで認知症地域支援推進員が一貫して関わっているので、終結後に対応困難な症状等が起こったとしても、スムーズに介入ができる。